



日本農業市場学会

Newsletter

●発行：日本農業市場学会事務局

〒573-0101 大阪府枚方市長尾峠町 45-1

摂南大学農学部食農ビジネス学科 気付

TEL：072-896-6000（農学部事務室気付）

FAX：072-896-6003（農学部事務室気付）

E-mail：kumi.soejima@setsunan.ac.jp

Contents

- 2022年度大会案内（第2報）
- 2022年度大会個別報告の募集について
- 日本フードシステム学会・日本農業市場学会 共催 卸売市場特別研究会のご案内
- 学会賞の推薦締切の延長について

2022年度大会案内（第2報）

2022年度大会は、摂南大学枚方キャンパス（大阪府枚方市）にて、以下の日程・内容で開催します。

◆ 日程

- 2022年7月1日（金）：各種委員会および理事会
- 7月2日（土）：シンポジウム、総会、懇親会
- 7月3日（日）：個別報告

◆ シンポジウム概要（予定）

- 日時：7月2日（土） 9：30～16：00（終日開催）
- 会場：摂南大学農学部 8210 教室
- 方法：対面開催（ただし、コロナ感染症の状況によっては、ハイブリット開催）
- テーマ：食料・農業市場研究の到達点と展望（仮）
- 座長：松原 豊彦（立命館大学）、横山 英信（岩手大学）

タイムスケジュール

- 会長挨拶 9：30～ 9：35（5分）
- 大会実行委員長挨拶 9：35～ 9：40（5分）

座長解題	9:40～9:50 (10分)
第1報告 第1巻を中心に 岩佐 和幸 (高知大学)	9:50～10:30 (40分)
第2報告 第2巻を中心に 清水池 義治 (北海道大学)	10:30～11:10 (40分)
第3報告 第3・4巻を中心に 岸上 光克 (和歌山大学)	11:10～11:50 (40分)
第4報告 第5巻を中心に 堀部 篤 (東京農業大学)	11:50～12:30 (40分)
昼食・休憩	12:30～13:30 (60分)
コメントおよび質疑応答	13:30～14:00 (30分)
総合討議	14:00～15:40 (100分)
座長総括	15:40～15:50 (10分)
休憩	15:50～16:00 (10分)
総会、学会賞表彰式	16:00～17:00 (60分)
懇親会	17:30～19:30

◆ シンポジウム趣旨 (案)

日本農業市場学会研究大会シンポジウム「食料・農業市場研究の到達点と展望」について

座長 松原豊彦 (立命館大学)・横山英信 (岩手大学)

日本農業市場学会は今年学会設立30周年を迎える。この節目の年にあたり、『講座 これからの食料・農業市場学』(全5巻)を刊行する。この講座では「2010年代における世界とわが国の食料・農業市場の変貌を理論と実証の両面から捉えること」(『講座 これからの食料・農業市場学(仮称)』の刊行に向けて)を主な目的としている。本講座は、以下のテーマを掲げた5つの巻から構成され、食料・農業市場をめぐる多岐にわたる論点を俯瞰し、理論と実証の両面から対象に迫るものである。①グローバルゼーション・国際農業市場(第1巻)、②農政の展開と食料・農業市場(第2巻)、③食料・農産物の市場と流通(第3巻)、④食料消費・食生活・食品産業(第4巻)、⑤環境変化に対応する農業市場と展望(第5巻)。

そこで、今年の研究大会においては大会シンポジウムのテーマを「食料・農業市場研究の到達点と展望」として、『講座 これからの食料・農業市場学』が対象とした2010年代以降の世界とわが国の食料・農業市場をどのように捉えるべきか、いかなる視点から対象に迫るべきかについて検討したい。そのさい、食料・農業市場に影響を及ぼす諸要因、例えば世界の農産物貿易構造、わが国経済の動向と生活・消費構造、食料・農業政策の展開、農産物・食品流通の変容、農業構造の変動などとの関連で、全体を見渡して議論することが重要であると考え。

シンポジウムでは、各巻の編集に関わった中堅世代に属する研究者に報告をお願いした。講座各巻の豊富な内容をふまえて、それぞれの巻でいかなる視点から、どのような対象・課題に焦点をあ

てて分析したかを概観するとともに、報告者としての独自の論点開示がなされるものと期待している。

今回のシンポジウムにおいて、本学会としての食料・農業市場研究の到達点を示すとともに、今後の食料・農業市場研究の展望について議論する出発点としたい。

2022 年度大会個別報告の募集について

以下のとおり、会員のみなさまから個別報告を募集いたします。希望される方は期日までに必要事項を企画委員会事務局（後掲）までご連絡ください。

*対面開催（ただし、コロナ感染症の状況によっては、オンライン開催）

◆ 個別報告の申し込み（エントリー）

○締切 2022 年 5 月 9 日（月） ※E-mail で企画委員会事務局必着

◇ 個別報告へ申し込む際の必要連絡事項

- ① 報告者氏名および所属
- ② 報告タイトル
- ③ スライド（PDF ファイルのみ可）使用の有無

◆ 個別報告の報告要旨の提出

○締切 2022 年 5 月 30 日（月） ※E-mail で企画委員会事務局必着

◇ 提出書類

学会ホームページの「個別報告要旨（様式）」に従って作成してください。

※学会ホームページのアドレス：<http://amsj.jp/>

※用紙：A4 版横書き用紙 1 枚以内（1,000 字程度）

※内容：報告タイトル（ゴシック体 10.5 ポイント太字、中央寄せ）

報告者氏名（明朝体 10.5 ポイント、中央寄せ）

所属（（ ）内に明朝体 10.5 ポイント、中央寄せ）

報告要旨本文（明朝体 10.5 ポイント）

※提出方法：MS-Word 形式のファイルを E-mail 添付で提出してください。

◆ 申し込みにあたっての注意事項

- ・報告時間は、1 報告 20 分、質疑 10 分を予定していますが、報告者の数によっては変更することもあります。あらかじめご承知おきください。
- ・会費を滞納している会員は、個別報告やセッションに申し込むことができません。また、報告の代表者だけではなく、連名で報告される会員すべてについて、会費を納入していることが条件となります。

- ・大会後に報告論文の投稿を検討されている方は、以下の点に特にご留意ください。投稿規程（2015年12月改正）によれば、報告論文のタイトルおよび執筆者（順）は、原則として個別報告等（要旨集掲載）のタイトルおよび報告者（順）とすることになっていますので、よろしくお願ひします。
 - ・個別報告の領域が本学会の目的（会則第2条「農業・食料に関わる諸市場の理論的・実証的研究」）にふさわしくないと判断される場合は、個別報告をお断りすることがありますので、あらかじめご承知おきください。
 - ・メールで報告申し込み（5月9日締切）を行なう際は、メールタイトルを必ず「氏名（日本名および外国名の方で漢字やカナ表記を希望される場合は日本字で、その他の外国名の方はアルファベット）：市場学会個別報告申し込み」として下さい（例「岸上光克：市場学会個別報告申し込み」）。
- また報告要旨提出（5月30日締切）を行なう際は、メールタイトルを「氏名：市場学会個別報告要旨」と記して下さい（例「岸上光克：市場学会個別報告要旨」）。
- メールタイトルが以上のようにない場合、受け付け漏れが生じる危険がありますが、その責任は企画委員会事務局では負いかねます。
- ・報告要旨は、上記の学会ホームページにある様式に厳密に従って作成して下さい。それ以外のものは受け付けができない、したがって個別報告ができないことがあります。
 - ・個別報告の時間帯、場所、順序、会場などの決定は、全てを企画委員会事務局にご一任下さい。

○申込先（問い合わせ先）：企画委員会事務局

日本農業市場学会企画委員会事務局 岸上 光克（KISHIGAMI, Mitsuyoshi）

申込先

E-mail: mkishi@wakayama-u.ac.jp
--

〒640-8510 和歌山市栄谷930 和歌山大学 食農総合研究教育センター

TEL：073-457-7244（直通）

特別研究会（卸売市場のあり方）について

日本農業市場学会・日本フードシステム学会 共催 卸売市場特別研究会のご案内
「コロナ禍における卸売市場の対応とその持続性・公共性を考える」

日本フードシステム学会会長 木立 真直
日本農業市場学会会長 野見山 敏雄

長期化するコロナ禍にあっても、卸売市場は、消費者にとって必須の財である生鮮食品を日々供給する機能を持続的に維持し、社会インフラとしての公共的役割を果たしています。とはいえ、コロナ禍により、市場業者はいかなる影響を受け、またどう主体的に対応したのか、その実態は十分

に明らかにされていません。今後の卸売市場の方向性と課題を考える上でも、コロナ禍という未曾有の危機的事態に対し、卸売市場は何を守りつつ、どう変わろうとしているのかの検討が求められています。関連分野の2つの学会が連携して、この問題を考える場として特別研究会を開催します。

○日時 2022年5月21日(土) 13時～16時40分 *受付開始は12時40分

○会場 東京都中央卸売市場 豊洲市場 講堂(7街区 豊洲市場 管理施設棟1階)

〒135-0061 江東区豊洲6-6-1 最寄駅: ゆりかもめ「市場前」

○プログラム

開 会

座長解題 小野 雅之氏(摂南大学)・佐藤 和憲氏(東京農業大学)

第1報告 池田 真志氏(拓殖大学) 「首都圏卸売市場の動向とコロナ禍への対応—川崎市の事例を中心に—」

第2報告 坂爪 浩史氏(北海道大学) 「遠隔地卸売市場の動向とコロナ禍への対応—札幌市の事例—」

第3報告 網野 裕美氏(全水卸協会) 「水産卸売市場におけるコロナ禍の状況・対応・課題」

第4報告 矢野 裕児氏(流通経済大学) 「コロナ渦で卸売市場が直面する物流問題と対応策」

コメント 中嶋 康博氏(東京大学) 濱田 英嗣氏(摂南大学) 西村 順二氏(甲南大学)

討 論

閉 会

○参加申込方法:(参加費無料・公開方式) 感染対策を徹底するため、人数を制限した事前予約制で

す。5月13日(金)までに下記宛、参加申し込みください。先着順で収容人員に達した時点で受付を終了します。⇒参加申込先 <https://forms.gle/ytgbmcqtZdcxWfuTA>

*当日、発熱などの体調不良の場合はご参加をお控えください。会場入口での検温、消毒があります。

13時で受付を終了いたしますので、原則として遅れての入室はできません。

※参加申込に関する問合せ先: E-mail:kumi.soejima@setsunan.ac.jp 摂南大学・副島 久実

※その他の問合せ先: E-mail:sugimura@agr.u-ryukyu.ac.jp 琉球大学・杉村 泰彦

学会賞の推薦締切の延長について

2022年度の日本農業市場学会賞(学術賞・奨励賞)について、2月末日まで応募がありませんでしたので、推薦締切を4月末日まで延長します。下記の要領をご覧の上、積極的に応募いただくようお願いいたします。(学会賞選考委員長 冬木 勝仁)

(1) 受賞候補の条件

◇日本農業市場学会学術賞

2019年1月1日から2021年12月末までに公刊された著書等。本学会会員であれば候補者の年齢は問わないが、学会誌第30巻第1号～第4号に掲載された<論文>の著者を除く。

◇日本農業市場学会奨励賞（川村・美土路賞）

2020年1月1日から2021年12月末までに公刊された研究業績。ただし、2022年4月1日時点で満40歳未満の会員とし、学会誌第30巻第1号～第4号に掲載された<論文>の著者を除く。

（2）学会賞候補を推薦できる者

1名ないし複数名の本学会会員

（3）推薦の方法

推薦者から学会賞選考委員長宛に、A4用紙に横書きで下記の事項を記載の上、提出する。

- ①選考対象の研究業績名、または著書等名（いずれも発行所、発行年月日、論文の場合は掲載誌の名称・巻号を記載）
- ②受賞候補者の氏名
- ③候補者の所属機関
- ④候補者の略歴（対象の業績が複数、または業績が共著であり審査対象者が複数の場合、①または②～④を繰り返して記入すること）
- ⑤同研究業績または著者等の要約（2,000字以内）
- ⑥推薦者
- ⑦推薦理由

（4）推薦状および対象業績提出先

〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉 468-1 農学系総合研究棟教員研究室 E213

東北大学大学院農学研究科 冬木 勝仁 宛（Tel&Fax:022-757-4200）

★対象となる業績（研究業績または著書等）3部を送付してください。

（5）推薦締切

2022年4月末日消印有効